

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-19-1
事業名 我孫子市市街地液状化対策事業
事業費 55,048 千円（国費 41,243 千円）
事業期間 平成 24 年度～平成 26 年度
事業目的 東日本大震災による地盤の液状化によって著しい被害を受けた布佐東部地区において、再度災害時における再液状化被害を抑制するため、道路と隣接宅地等の一体的な液状化対策を推進する。
事業地区 我孫子市布佐東部地区（12.5ha）
事業結果 ○液状化対策事業計画策定業務委託費用 32,086 千円（国費：24,053 千円） ○実証実験工事費用：22,962 千円（国費：17,190 千円）  ・市街地液状化対策事業計画の作成及び実証実験の実施 液状化対策事業計画の作成にあたり、液状化対策検討委員会を設置して液状化が起こった原因の究明を行うとともに、被災区域における最適な液状化対策工法を選定するにあたり、地下水位低下工法を行った際の効果や影響について実証実験を実施して事業計画の作成を行った。
事業の実績に関する評価 ①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ・事業計画の策定により得た液状化のメカニズムや、実証実験の結果によって得た被災区域における最適な液状化対策を、住民説明会の実施などにより地域住民に対して周知することで、液状化に対する防災意識を高めることができた。  ②コストに関する調査・分析・評価 ・液状化対策事業計画の策定にあたっての業者の選定はプロポーザルを実施して提案内容、実績、実施体制及びコストについて適正な審査を実施して決定した。 ・実証実験については被災区域内の空き地を活用してコストを削減するなど、事業費縮減に努めた。 以上の点から当該事業の事業費は妥当であると考える。  ③事業手法に関する調査・分析・評価 ・液状化対策検討委員会では、地盤や地震工学に精通した有識者を委員に選考し、

委員会を開催して検討を行ったことで、当該区域における液状化のメカニズム解析し、さらに実証実験を実施したことで当該区域における最適な液状化対策工法を選定することができたことから、事業手法について妥当であると考えます。

○復興交付金事業計画の有用性、経済性や復興交付金事業の実施にあたり改善が可能であった点

・特になし

事業担当部局

都市部地域整備課布佐東部地区復興対策室 電話番号：04-7185-2462